

2023 年 2 月 10 日

株式会社リエネ
一般社団法人再生可能エネルギー地域活性協会

リエネソーラーファーム東松山にて 東京工業大学の研修が行われました

株式会社リエネ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：西田 恵介（以下「リエネ社」））と一般社団法人再生可能エネルギー地域活性協会（本社：東京都渋谷区、代表理事：池内 敬（以下「FOURE」））および国立大学法人東京工業大学（本部：東京都目黒区、学長：益一哉（以下「東京工業大学」））は、リエネ社が運営する、農業と再生可能エネルギー（以下「再エネ」）両方の課題解決を目指すソーラーシェアリング実証施設「リエネソーラーファーム東松山」において、環境省総合政策課環境教育推進室が主催する「令和4年度 教育機関と連携した地域再エネ導入促進及び地域中核人材育成研修」制度（以下「環境省主催研修制度」）の一環として、東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系の学生（同大学錦澤准教授による引率）の研修（以下「本研修」）を2023年1月20日に実施したことをお知らせいたします。

■ 本研修実施の経緯

FOURE と錦澤准教授はかねてより地域の環境配慮や地域共生型の再生可能エネルギー導入について活動を進めており、この度、錦澤准教授より、農業と再エネ両方の課題解決を目指すソーラーシェアリング実証施設「リエネソーラーファーム東松山」（以下、「本事業」）が、地域と共生する優良事例であるとして、本研修に至りました。

環境省主催研修制度は、再エネを導入する地域と高等教育機関の連携促進、専門性を持った新たな価値の創造に取り組む人材の育成、地域の脱炭素化のための視座を共有する教育機関及びユース世代間のネットワーク形成によって、持続可能な脱炭素社会の実現を支援することを目的に、全国を対象に開催されています。

■ 本研修の概要

本研修では、総勢8名の同大学学生にご参加いただき、農業の効率性を考慮し設置された杭架台やパネル配置、災害時に地元の方々が充電可能な設備などが設置された「リエネソーラーファーム東松山太陽光発電所」の視察が行われました。

また、近隣に開設された地域共生プロジェクト「TENOKA 東松山」において、本事業を運営するリエネ社および事業関係者より、本事業のコンセプトや事業を進めるにあたっての地域との合意形成の過程や各種許認可取得の流れ、今後の事業展開等など、事業に至るまでの説明が行われ、参加者との活発な意見交換を行いました。



本研修当日の様子

■ 本事業の概要

本事業は農業と再エネ両方の課題解決を目的に、ソーラーシェアリング実証事業を行う「リエネソーラーファーム東松山太陽光発電所」と、ソーラーシェアリングで収穫された農作物提供や実証説明・商品展示も兼ねたカフェ・コワーキングの機能を有する地域共生プロジェクト「TENOKA 東松山」の二つから構成されます。

次世代の太陽光発電事業並びに売電スキームの検証等、次世代を担う再エネ事業と農業の実証実験プラットフォームを東急不動産が提供し、様々な関係者の皆様と協働する、参加型実証事業を目指します。



< 発電所概要 >

事業名	リエネソーラーファーム東松山 太陽光発電所
所在地	埼玉県東松山市上野本 1077-1 外 9 筆
事業者	東急不動産株式会社
地目	田（一部敷地の地目変更予定）
用途地域	市街化調整区域
農地種別	農用地区域（青地）
発電出力	DC：378.78kW AC：248kW
稼働開始時期	2022 年 12 月